

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-III-2

4-III
-2

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	散策道の整備
	節 III. 安全対策の徹底			
事業(施策)名	2 散策道の整備		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
			関連団体	県文化行政課
事業実施期間	H28～H32			
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見学ルートに沿った散策道の整備により、来訪者の利便性・安全性の向上を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産包括的保存管理計画等各種計画に基づき、文化庁や専門家の指導・関連機関の協力(安全対策の工法助言)の下、来訪者の安全に配慮した散策道の整備や歩行者用の誘導サインの設置を行う。 			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相川市街地の見学ルート上に歩行者誘導用のサイン設置を行った。 			
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 構成資産が広範囲にわたるため、計画的・効果的な誘導サインの設置、散策道の整備を行う必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 見学ルート上に歩行者誘導サインの設置や散策道の整備を行い、併せて活用のための町歩きマップの作成を図る。 			
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a ● b · c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a ● b · c]</p> <p>【総合評価】 [A ● B · C]</p> <p>◇ H28年度は、見学ルートの歩行者誘導サインの設置が進められたことで、一定の成果が得られていると考える。</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。